

計画年度	令和7年度
都道府県	宮崎
所在市町村	五ヶ瀬町

# 中山間地域総合整備事業（一般型）実施計画書

（兼ヶ瀬地区）

計画主体名

（宮崎県）

# 目 次

第1章 実施計画策定地域の範囲	1
第1節 地域の概況	1
1. 地 域	1
1) 農業集落状況	1
2. 地 積	3
1) 地 積	3
2) 林野率及び農用地の傾斜度	3
3. 市町村の財政及び人口構成	3
4. 農業の状況	4
1) 専兼別農家戸数	4
2) 戸当り平均耕地面積	4
3) 農家所得	4
5. 基盤整備の状況	5
6. 法令に基づく指定状況	5
第2節 地域の設定理由	6
第2章 基本計画又は準じる計画における当該事業の位置付け	6
第1節 事業で対応するテーマと目標	6
第2節 実現のため事業で対応する整備内容	7
第3章 農村振興の関連施策	7
第4章 地域住民の活動計画	7
第5章 事業の計画	8
第1節 整備の目標	8
1. 農業生産基盤整備	8
2. 農村生活環境整備	8
3. 特認 該当なし	8
第2節 事業の計画	9
I. 農業生産基盤整備	9
1. 農業用排水施設整備	9
1) 農業用水施設整備	9
2) 農業排水施設整備 該当なし	10
2. 農道整備	10
3. ほ場施設 該当なし	10
4. 農用地開発 該当なし	10
5. 農地防災 該当なし	11
6. 客土、暗渠排水その他農用地の改良又は保全 該当なし	11

II. 農村生活環境整備	11
1. 農業集落道整備	11
2. 営農飲雑用水施設整備	11
3. 農業集落排水施設整備 該当なし	12
4. 農業集落防災安全施設整備	12
5. 用地整備 該当なし	12
6. 活性化施設整備 該当なし	12
7. 集落環境管理施設 該当なし	12
8. 交流施設基盤整備 該当なし	12
9. 情報基盤施設整備 該当なし	13
10. 市民農園等整備 該当なし	13
11. 生態系保全施設等整備 該当なし	13
12. 交換分合 該当なし	13
III. 特認事業 該当なし	13
第3節 工事の着手及び完了予定時期	13
第4節 施設の予定管理者及び予定管理方法	14
第5節 費用の総額及び内訳	14
1. 費用の総額	14
2. 費用の内訳	14
第6章 その他の必事項	15
第1節 効 用	15
第2節 費用の負担方法	15
第3節 資金計画	15
第4節 関連する事業	16
第5節 法手続き	16
第6節 添付図面	16

第1章 実施計画策定地域の範囲

第1節 地域の概況

1. 地域

みやざきけんにしゅうすきぐんごかせちよう  
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

1) 農業集落状況

集 落 名	集 落 形 態				戸 数			人 口				備 考
	散 在	散 居	集 居	密 居	総戸数	農 家 戸 数	農家率	総人口	農 家 人 口	農業就 業人口	農業就 業人口 比 率	
1. 尾原, 奈良津, 谷下	○					13			24			
2. 長迫, 一の瀬, 長原	○					16			25			
3. 大石	○					15			43			
4. 牧	○					13			36			
5. 寺村, 坂本	○					15			24			
6. 内の口	○					22			41			
7. 坂狩	○					23			35			
8. 荒谷	○					6			10			
9. 戸川	○					7			16			
10. 宮の原	○					18			29			
11. 中村	○					15			24			

集 落 名	集 落 形 態				戸 数			人 口				備 考
	散 在	散 居	集 居	密 居	総戸数	農 家 戸 数	農家率	総人口	農 家 人 口	農業就 業人口	農業就 業人口 比 率	
12. 広木野	○					4			x			
13. 赤谷	○					8			x			
14. 滝下	○					-			-			
15. 兼ヶ瀬	○					15			17			
16. 高畑	○					14			11			
17. 貫原, 立壁	○					5			x			
18. 戸の口, 古園	○					1			x			
19. 廻淵	○					18			20			
20. 川曲	○					4			-			
21. 岩神	○					1			x			
22. 越次	○					2			x			
23. 八重所	○					8			x			
24. 室野	○					15			16			
25. 西, 辻	○					15			29			
26. 久保	○					5			11			

集 落 名	集 落 形 態				戸 数			人 口				備 考
	散 在	散 居	集 居	密 居	総戸数	農 家 戸 数	農家率	総人口	農 家 人 口	農業就 業人口	農業就 業人口 比 率	
27. 中山	○					10			24			
28. 宮原, 陣, 馬場	○					6			14			
29. 横通	○					10			19			
30. 黒板	○					8			14			
31. 下赤	○					4			x			
32. 興地, 北の迫	○					13			26			
33. 上赤	○					2			x			
34. 小半田	○					7			17			
35. 土生	○					6			5			
36. 波埴, 下山	○					3			x			
37. 麦の崎, 鳥越	○					8			14			
38. 柿の尾, 栗の谷	○					7			7			
計	38	-	-	-		362	-	-	551	-	-	
(五ヶ瀬町全体)	集 落 総 数 (60) 集 落				(1,589)	(390)	(25)	(3,965)	(1,549)	(-)	(-)	

※農家戸数及び農家人口は、農林業センサス2020「農業経営体\_世帯員、役員・構成員（経営主を含む）の状況」及び「総農家等、総農家数等」より引用

## 2. 地積

### 1) 地積

地 域	面 積 (h a)								備 考
	水 田	普通畑	樹園地	牧草地	農用地計	山林原野	その他	合 計	
事業実施 地 域	15	1	0	0	16			16	
(市町村)	(129)	(62)	(62)	(6)	(259)	(83,281)	(0)	(83,540)	

### 2) 林野率及び農用地の傾斜度

林 野 率	全体面積	ha 9,713	林野面積	ha 8,381	同左比率	% 86
傾 斜 率	全 体 農 用 地 面 積	ha 116	傾斜1/100 以上農用地 面 積	ha 116	同左比率	% 100
平 均 傾 斜 度	1 / 9.4					

### 3. 市町村の財政及び人口構成

人口増減率	若年構成比	高齢者構成比	財政力指数	公債費比率
(△ 2.9 %)	(3.3 %)	(△37.8 %)	(0.14)	(4.8 %)
△18.4 %	△8.7 %	△44.8 %	0.14	13.5 %

※ ( ) の五ヶ瀬町全体の数値は農業振興地域整備計画書(令和5年1月)の基礎資料より引用

#### 4. 農業の状況

##### 1) 専兼別農家戸数

地 域	専 兼 別 農 家 戸 数 (戸)					備 考
	専 業	一 種 兼 業	二 種 兼 業	農 家 戸 数	中 核 農 家	
事業実施 地 域	( 35.3 % ) 94	( 17.3 % ) 46	( 47.4 % ) 126	266	( )	
市町村	( 34.4 % ) 134	( 16.9 % ) 66	( 48.7 % ) 190	390	( % )	

##### 2) 戸当たり平均農用地面積及び主要農産物

平均農用地面積	主 要 農 産 物						
(91 a/戸)	水稲	茶	野菜	花卉	畜産		
72 a/戸							

##### 3) 農家所得

地 域	平均農家所得 千円/戸			備 考
	農 業 所 得	農 外 所 得	農 家 所 得	
事業実施 地 域	( 90.8 % ) 1,404	( 9.2 % ) 142	( 100.0% ) 1,546	
都道府県	( 90.2% ) 2,420	( 9.8% ) 264	( 100.0% ) 2,684	

5. 基盤整備の状況

土地基盤の整備状況			環境基盤の整備状況			
ほ場整備	農業用排水路	農道	集落道路	営農飲雑用水	集落排水路	し尿処理
( 0 %)	( 42.6 %)	( 48.5 %)	( 100 %)	( 70.9 %)	( - %)	( 73.1 %)
163ha	48.2km	80.9km	0.34km	1,013戸	0km	2,520人
施設の整備状況	特産センターごかせ S62、五ヶ瀬ワイナリー H17、小半田営農飲雑用水施設 H8、小半田伝統芸能伝承施設 H8、大石の内伝統芸能伝承施設 H9、大石の内営農飲雑用水施設 H9、横通集落センター H22、内の口集落センター S58、兼ヶ瀬地区山村活性化支援センター H7					

6. 法令に基づく指定状況

法令名	指定年月日	備考
農振	H. 9 年 12 月	
過疎	H.12 年 3 月	
山振	S.48 年 10 月	
特農	H. 5 年 9 月	
辺地	-	
特土	-	

## 第2節 地域の設定理由

本町は、第一次産業の農林業を基幹産業とする農業の町である。しかし、急峻な地形条件から農地の規模は小さく、近年は農業後継者不足や高齢化が進行し、耕作放棄地が増加するのみならず、集落機能の維持すら困難な状況にある地域もある。

このような中、町は、町内各地域において中山間地域総合整備事業を実施するなど、各種制度事業を導入して、他の町村に比較して立ち後れている生産基盤や農村生活環境基盤を整備し、地域の活性化を計画的に図っているところである。

当地域は、1級河川五ヶ瀬川水系三ヶ所川の左岸側にあり、水稲はもとより冷涼な気候を生かした高冷地野菜やお茶など、厳しい気象条件の中営んでおり、農家の生産意欲は非常に高い。しかしながら、過疎化、担い手不足の進む当地区の急峻な地形に存在する農地、農業用施設等の生産基盤の整備が立ち遅れており、高齢者化が進む農業者には重労働となり、負担がかかっている。また、施設の脆弱化が進んでいるため維持管理に多大な労力、経費を要し、農業経営を圧迫している状況であり早急な整備が望まれている。

さらに、農村環境の面においても、生活様式や営農形態の変化に伴う営農飲雑用水の不足や安全性など、生活基盤整備が著しく立ち遅れている地区であるため、農業生産基盤・農村生活基盤の整備が急務である。

## 第2章 基本計画又は準じる計画における当該事業の位置付け

### 第1節 事業で対応するテーマと目標

3町からなる宮崎県西臼杵郡では『心のやすらぐふるさと創造』—美しい自然と神話の里 にしうすき— を地域の将来像 に、次のテーマを掲げ、地域振興に努める計画である。

- 「みどり豊かな活力あるまちづくり」
- 「人と自然が共生する安全なまちづくり」
- 「神話伝説に生きる心ゆたかなまちづくり」
- 「健康で安心して暮らせるまちづくり」
- 「健全で信頼できるまちづくり」

そこで本事業においては、次の2つのテーマに対応し、地域の活性化を目指していく。

#### ○ 「みどり豊かな活力あるまちづくり」

農山村・過疎化といったマイナスイメージを逆手に取って都市部にはない恵まれた自然環境・森林資源を積極的に活用するとともに、神社・夜神楽・民謡等多くのものと有機的に連携した有形・無形の観光資源の活用や都市と農村の交流を図るグリーン・ツーリズム等を積極的に展開するなど、農業・観光・商工業等の総合的な基盤整備に取り組み、21世紀にふさわしい、みどり豊かな活力あるまちづくりを推進する。

#### ○ 「人と自然が共生する安全なまちづくり」

生活・生産の基盤となる水資源の保全および開発を積極的に推進する。さらに本地域の特性を踏まえ、人と自然が調和した快適なまちづくりを推進する。

## 第2節 実現のため事業で対応する整備内容

「みどり豊かな活力あるまちづくり」

農業生産基盤整備

- ①急傾斜地帯の山腹を走る農業用用水路の整備による生産条件の整備
- ②通作管理の効率化と利便性向上のための農道整備

農業用用水路  
農道

「人と自然が共生する安全なまちづくり」

生活環境基盤整備

- ①安定的な飲用水の確保と農用地の高度利用のための営農飲雑用水施設の整備

営農飲雑用水施設

## 第3章 農村振興の関連施策

①実施プログラムの調整…………… 該当なし。

②整備内容等の調整…………… 該当なし。

## 第4章 地域住民の活動計画

本町の将来像の実現を目指し、組織や家族、地域を越えた町民の交流を深め、地域の絆を強めるとともに、健全な地域社会を創造するために、町民参加のまちづくりを目指す。そのためには、行政、組織、コミュニティ、町民個人がそれぞれの役割を明確にする。町民の自主的なまちづくり運動を積極的に支援し、行政と町民が一体となったまちづくりを目指す。

## 第5章 事業の計画

### 第1節 整備の目標

#### 1 農業生産基盤整備

項目	現況	整備の目的	整備量
農業用水路	現況水路は、ほぼライニングされた水路であるが、老朽化による漏水が多く水管理に苦慮している。また、山林からの流入もあるため水路法面が崩壊している。	農業用水路を整備することで、維持管理の負担が軽減されると共に、安定した水の供給により管理労力を軽減させる。これにより、これまでに通水不足により耕作放棄されていた圃場での耕作を図る。	2,645m
農道整備	現況農道は、幅員狭小により耕作車両と耕作機械の離合が不可能なために、生産性・効率性が低い状態となっている。	道路の幅員を確保することにより、耕作車と耕作機械とのすれ違いを可能とし、労力の節減を図る。また、食の安心・安全、地産地消の関心が高まる中で、中核農家の育成を促成し併せて農業担い手の育成を行い、生産性向上と地域営農の安定化を図る。	468m

#### 2 農村生活環境整備

項目	現況	整備の目的	整備量
営農飲雑用水施設	本地区には集落より約2km離れた場所に水源があり、生活様式や営農形態の変化に伴う営農飲雑用水の不足が生じている。また、施設の老朽化が進行し、各管路の布設位置なども不明確なところが多く、安定した給水が行われているとは言えない状況となっている。	水道施設の更新と機能強化を図り、衛生的にも安全な安定した水を確保し、農畜産物の品質向上に努め、安定して暮らせる地域づくりを図る。	45戸

#### 3 特認 該当なし

項目	現況	整備の目的	整備量

第2節 事業の計画

I. 農業生産基盤整備

1. 農業用排水施設整備

1) 農業用水施設整備

系統名	位置	受益面積 (ha)	水源			計画用水量 (平均) 最大 ( $m^3/s$ )	主要施設 の諸元	備考
			種類	湧水量 ( $m^3/s$ )	可能 取水量 ( $m^3/s$ )			
1. 長原1	長原	0.9	三ヶ所川	—	—	0.0062	側溝U-1型300 L= 66m 側溝U-1型400 L= 18m CSB I形φ150 L= 18m PEφ125 L=128m PEφ100 L= 38m 取水施設 N=1.0	
2. 長原2	長原	4.5	長原川	—	—	0.0300	側溝U-1型300 L=435m 側溝U-1型400 L=345m 側溝U-1型500 L=158m 側溝U-1型600 L= 72m ロング暗渠300 L= 44m CSB I形φ150 L= 29m 波状管(ダブル)φ300 L= 29m 波状管(ダブル)φ400 L= 26m VPφ75 L= 38m	
3. 坂本	坂本	2.9	三ヶ所川	—	—	0.0190	高密度PE管φ250 L=187m VPφ200 L= 17m 水管橋 L= 31m	
4. 内の口揚向	内の口	1.6	内の口川	—	—	0.0106	側溝U-1型300 L=200m 水管橋 L= 20m	
5. 内の口笹原	内の口	1.9	谷場山川	—	—	0.0124	高密度PE管φ300 L= 41m 取水ゲート N=1.0 土砂吐ゲート N=1.0	
6. 長迫	長迫	1.5	戸根川	—	—	0.0100	側溝U-1型300 L= 14m 水管橋 L= 20m	

2) 農業排水施設整備 該当なし

系統名	位置	受益面積 (ha)	流域面積		基準雨量		計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	排水方式	主要施設の諸元	備考
			山地 (km <sup>2</sup> )	平地 (km <sup>2</sup> )	排水路 (mm/h)	居住区の雨水排水 (mm/h)				

2. 農道整備

路線名	位置	車道幅員全幅 (m)	延長 (m)	構造	整備の内訳			主要構造物	受益面積 (ha)	備考
					拡幅 (m)	改良 (m)	附帯施設			
7. 長原	長原	2.0 / 3.0	88	アスファルト舗装	88	-	-	-	0.9	
8. 内の口	内の口	2.0 / 3.0	380	アスファルト舗装	380	-	-	-	1.4	

3. ほ場整備 該当なし

団地名	位置	地目	整備面積 (ha)	区画形状 (a)	用水路、農道の計画概要	備考

4. 農用地開発 該当なし

団地名	位置	地目	造成面積 (ha)	主要作物	自然傾斜	耕地形態	区画形状	土壌改良	備考

5. 農地防災 該当なし

団地名	位置	受益面積 (ha)	工種	備考

6. 客土、暗きょ、その他農用地の改良又は保全 該当なし

団地名	位置	受益面積(ha)	事業種類	備考

II. 農村生活環境整備

1. 農業集落道整備 該当なし

路線名	位置	車道幅員 全幅(m)	延長 (m)	構造	整備の内訳			主要構造物	備考
					拡幅	改良	附帯 施設		

2. 営農飲雑用水施設整備

系統名	位置	受益戸数 (戸)	水源		計画用水量 (平均) 最大(m <sup>3</sup> /日)	主要施設 の諸元	備考
			種類	可能取水量 (m <sup>3</sup> /日)			
9. 兼ヶ瀬	兼ヶ瀬	45	湧水	-	(54.0) 75.0	取水施設 浄水施設 配水施設	

3. 農業集落排水施設整備 該当なし

系統名	位置	流域 面積 (ha)	計画基準雨量		計画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	排水 方式	主要施設 の諸元	備考
			確率	基準雨量 (mm/h)				

4. 農業集落防災安全施設整備 該当なし

種類	位置	工事内容			備考
		箇所数	数量	主要構造	

5. 用地整備 該当なし

種 類	名 称	位 置	面積 (m <sup>2</sup> )	工 事 内 容	備 考

6. 活性化施設整備 該当なし

位 置	施 設 内 容	面積・数量 (m <sup>2</sup> )	利 用 目 的	対 象 集落数	利 用 対 象 人 口 (人)	備 考

7. 集落環境管理施設 該当なし

種 類	施 設 内 容	規 模・能 力	利 用 目 的	対 象 集落数	処 理 対 象	備 考

8. 交流施設基盤整備 該当なし

種 類	対 象 集 落 数	利 用 対 象 人 口 (人)	面 積 (m <sup>2</sup> )	施 設 内 容	備 考

9. 情報基盤施設整備 該当なし

種 類	施 設 内 容	規 模・数 量	利 用 目 的	対 象 戸 数	情 報 内 容	備 考

10. 市民農園等整備 該当なし

種 類	対 象 集 落 数	利 用 対 象 人 口 (人)	面 積 (m <sup>2</sup> )	施 設 内 容	備 考

1 1. 生態系保全施設等整備 該当なし

種 類	施設内容	規 模(m <sup>2</sup> )	対象動物等の状況	施設の概況	備 考

1 2. 交換分合 該当なし

団地名	位 置	関係戸数	面 積	筆 数	備 考
			( )	( )	

III. 特認事業 該当なし

種 類	位 置	内 容	備 考

第3節 工事の着手及び完了予定時期

工事の着手 令和3年度

完了予定 令和11年度 9ヶ月

第4節 施設の予定管理者及び予定管理方法

事業区分	事業種類	施設名	予定管理者	予定管理方法	備考
農業生産基盤	農業用水	長原1用水路	五ヶ瀬町	委託管理及び出役	
		長原2用水路	〃	〃	
		坂本用水路	〃	〃	
		内の口揚向用水路	〃	〃	
		内の口笹原用水路	〃	〃	
		長迫用水路	〃	〃	
	農道整備	長原農道	五ヶ瀬町	委託管理及び出役	
		内の口農道	〃	〃	
農村生活環境基盤	営農飲雑用水	兼ヶ瀬営農飲雑用水	五ヶ瀬町	委託管理及び出役	

第5節 費用の総額及び内訳

1. 費用の総額

総 額 1,030.5百万円(事務費を除く)

2. 費用の内訳

事業区分	事業種類	単価 (千円)	事業量	事業費 (千円)
農業生産基盤	農業用水	141.9千円/m	6路線 2,645m	526,600
	農道整備	175.9千円/m	2路線 468m	129,900
	小計			656,500
農村生活環境基盤	営農飲雑用水	6,966千円/戸	1箇所	374,000
	小計			374,000
合計				1,030,500

第6章 その他の必要事項

第1節 効用

総費用便益比	1.07
--------	------

第2節 費用の負担方法

事業区分	事業種類	事業費 (百万円)	負担区分 (%)				負担額 (千円)				備考
			国	都道府県	市町村	その他	国	都道府県	市町村	その他	
農業生産基盤	農業用水	526.6	55	32	12	1	289,630	168,512	63,192	5,266	
	農道整備	129.9	55	32	12	1	71,445	41,568	15,588	1,299	
農村生活環境	営農飲雑用水	374.0	55	32	13	-	205,700	119,680	48,620	-	
計		1,030.5					566,775	329,760	127,400	6,565	

第3節 資金計画

地元負担区分	負担額 (千円)	資金調達区分 (千円)			備考 (資金名, 金利, 償還期限)
		自己資金	起債又は借入金	受益者負担金	
農業生産基盤	85,345	-	78,780	6,565	
農村生活環境	48,620	-	48,620	-	
計	133,965	-	127,400	6,565	

第4節 関連する事業 該当なし

事業名	事業主体	所管等	工期	事業種目	事業量	事業費	進捗率

第5節 法手続き

事業種類	受益者数	同意状況
農業用排水施設整備 農道整備	43 戸	同意 100 %

※営農飲雑用水施設については、受益者数45戸

第6節 添付図面 別紙添付

1. 実施計画平面図